

## 野戦病院（極楽谷）

病院というと、診療所や器具の揃った綺麗な建物を想像するだろう。野戦「病院」とは本来 負傷者を野外で治療する大規模な移動式救護施設のことであるが、「病院」とは名ばかりである。「極楽谷」につくられた野戦病院は、きれいな水の流れる小川が流れる小道をそって やや小高い丘をのぼったところにある、自然洞窟を利用した岩場の病院である。 サイパン島には川が少ないので、貴重な水源地の近くに病院を設けて 傷の手当てなどに水を使用したのであろう。または死んでいく兵士に最後の水を飲ませたのかもしれない。 洞窟の一部がベッドとなり、負傷者を寝かせ、岩に出来た小さな穴やくぼみを 棚のかわりにして医療器具を置いていた。今日でも「しびん」や「吐き皿」、「注射器」「飯合」などが当時のままに置き残されている。

